

バリ通信



2311号

秋と春が短すぎるんぢやい！の巻

この記事を書いている10月の中旬、昼間から夕方にかけてはまだ20℃を越えて23〜25℃の気温となっており、昼間は半袖の人もまだ見かけますね。

個人的にサッカーを今も現役で続けているので、スポーツをしやすい秋が大好きなのです。ジャケットを着始めてちよつと寒い位の気温が丁度良く、流石にサッカーしたら汗かきますが、寒いと体が硬くて動きにくいので秋が最高のサッカーシーズンなのです。20℃を超えるときはや暑く、25℃を超える気温でサッカーすると頭痛、日頃エアコンの効いた部屋で仕事してる人間にとって30℃越えの気温はもはや命の危険すら感じます。

Jリーグは12月〜2月はシーズンオフなのに『サッカーは冬のスポーツやる？』と言う方が多いのですが、おそらく昔は高校サッカーの全国選手権大会が12月、天皇杯決勝が元旦に行われていたのが数少ないテレビ放送だったからではないかと思われれます。(元旦に決勝戦を行うと選手のオフが短すぎてコンディション調整が難しいという事で、数年前から元旦ではなく12月初旬になりました。またJリーグの日程は今後変わるかも？です。)寒すぎるとボール蹴ったらつま先が痛いし(痛風ではないですよ)、ウォーミングアップしても中々温まらないし、冬の試合で雨が降ったら最悪ですからねえ、やっぱり秋が最高！

バリ通信は
過去に

(有)FORZA
愛媛日産自動車(株) 勤務時代
公益社団法人 今治青年会議所
今治商工会議所青年部

を通じて面識のある大切な方にお送りしております。

しかし！その大好きな秋がどんどん短くなってると思いませんか？下着を着る時にエアリズムではスースーして寒いし、ヒートテックじゃ暑いという時期、『どっちを着たら良いのか難しい』と嫁さんに話をしたら『綿の下着を着たらエエやん』と言われる定番のやり取りをする微妙な気温の時期が一番好きなのですが、本当にその期間が短い！春も短いけど！(笑)

そこで調べてみました、気象庁が季節ごとにまとめた日本の約130年間の気温推移データによりますと、春夏秋冬の全ての季節で気温の上昇が見られますが、なかでも最も気温が上昇しているのが春で、次が秋なんだそうです。

平均すると、ここ100年のあいだに春は1・56℃、秋は1・27℃、気温が上昇しているとのこと。同じく気象庁による月ごとのデータを確認すると、ここ100年で気温がもっとも上昇したのは3月で、約1・75℃もの上昇が見られました。

桜は4月の入学式に咲くものですが、最近では3月の卒業式の時期まで早まっていますね。ここ数年は東京では3月中旬に桜が開花しましたので、以前に比べ、春の到来が早まっていると実感します。春が早く来るのであれば、それだけ春が長くなるのかといえそうですが、そういってもない様です。

3月に次いで気温上昇率が高いのが5月で、北海道では真夏日を記録した年もあります。春だけでなく、夏の到来も早くなっているのです。桜の時期が過ぎ、ゴールデンウィークを迎えたと思ったら早くも真夏日が訪れる。こうした現象が、冒頭で触れたように「春が短い」と感じる理由のひとつです。

表面で書いた平均気温の件ですが、平均気温が1℃上がっても『たったの1℃』と一瞬思ってしまうですが、なんと夏日が1・8倍も増えているという事らしいので、そらざつと暑いはずですわ・・・9月の猛暑日(35℃以上)と真夏日(30℃以上)、10月の夏日(25℃以上)の増加で、春や秋が短くなったというよりも夏が長くなった、というのが正しい表現なのかもしれません。(同じ事やん!というツツコミ入りそうですが)

では温暖化やのに何故、秋が長く冬が短く、とはならんの?とも思いましたが、どうも11月の平均気温は上がっているけど、12月の平均気温は然程上がっていないらしく、『冬らしい冬』を保っているそうです。(スキー場に雪が無いとかニュースを見ますが・・・)まあ冬は平均より暖かったとしても、寒いのは変わりなく、暖房が不要だったという事は無いので、冬が短くなったとは思わないらしいです。1年中秋みたいな気温だったら良いと思いつつも、それぞれの季節に応じた食事・観光・服装・商品などがあり、様々な商売に繋がっているのです、日本の経済を考えると四季を感じられた方が良いのかもしれないですね。(このまま夏と冬だけになるのは本当に勘弁してほしい)

年末に向けての洗車事情

年末になると大掃除の時に洗車をされる方も多いので、ガソリンスタンドの洗車機が大渋滞しますよね。洗車機の進化は目覚ましく、昔は硬いナイロン系のブラシで擦って洗うので、濃色系なんかは台所洗剤のCMでよく見たクモの巣の様な薄傷がついたりしていたものですが、最新の洗車機のブラシは非常に傷が付きにくい素材で、オプシヨンの高圧洗浄を先にしないで泥汚れがついたまま洗車機に掛けない限りは、酷い洗車傷はつきにくいのです。付きにくいというだけで、絶対につかない訳ではないのですが、雑に手洗い洗車をするよりは傷が付きにくいかと思われまます。更に艶出し効果や撥水効果のあるメニューも豊富にあるので、一緒に行えば光沢も出るし、拭き取り作業も時短可能です。

平成の後半からは新車購入時に『ボディコーティング施工』を行う方が増えたので、せっせとワックス掛けを行う方は非常に少なくなりました。なんせ光沢と艶を長期に渡って保ってくれて、シミなどがつきにくく、仮にシミがついたとしても磨けば元通りになるケースも多いので、ワックスを買う↓洗車後にワックスを塗り込んで乾かす↓ウエスで拭き取るという面倒な作業が無いので、時間をお金で買う感覚で、楽しんで車を綺麗に保ちたい方は絶対にお勧めです。但し、ボディコーティングの効果を持続させるためには洗車機よりも手洗いで優しく洗う事を推奨いたします。ホースが当たって傷が付かないように注意しながら、水を掛けながら優しく汚れを洗い流して拭き取ってください。ボディコーティング施工した車をやむなく洗車機に入れる場合は、水洗いのみで行い、オプシヨンのコーティング洗車や撥水洗車などをしていないようにご注意くださいですね。